



会 期：2025年10月16日（木）17日（金）18日（土）
10:00 - 17:00 ※最終日（11:00-16:30）のみ一般消費者へも公開
会 場：Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre
主 催：Food Japan 実行委員会（OJ Events Pte Ltd）
後 援：在シンガポール日本国大使館、農林水産省、日本貿易振興機構、
自治体国際化協会、シンガポール政府観光局

東南アジア最大級 日本食品総合見本市、会場は熱気に包まれる — 35都府県・シンガポールより153社が出展 7,326名来場 —



駐シンガポール日本国 石川特命全権大使
出席のもと開会式開催



初日より会場は熱気に包まれる

第13回を迎えた「Food Japan 2025」では、初日から具体的な仕入れを目的とした来場者と出展各社との間で、活発な商談が繰り広げられた。展示エリアには、農林水産品、日本産酒類、日本茶、飲料、菓子・スイーツ、加工食品、食品機器、冷凍・冷蔵技術、伝統工芸品など、多彩なカテゴリーの製品が一堂に会した。

現地トレンドを捉えた日本産品・製品に熱視線

「デジタルオーダー&デリバリー」や「健康志向・サステナブル」「体験価値・差別化」など、現地市場のトレンドに捉えてた食品・技術・サービスへの注目が集まった。とりわけ、利便性や品質を両立させた冷凍食品、ハラルフレンドリー商品、オンライン販売対応型パッケージ商品などには来場者の関心も多く、ブースでは具体的な仕入れ相談や価格交渉が相次いだ。東南アジア市場での日本食品の存在感の高さを裏付ける結果となった。

地域と金融機関による海外展開支援が活発化

神奈川（横浜貿易協会）、埼玉、千葉、東京（東京都中小企業振興公社）、姫路市、福岡（福岡県商工会連合会）、福井、沖縄では、自治体・商工会連合会とも連携し、出展企業の海外販路開拓を積極的に支援した。

また、青森みちのく銀行、中国銀行、鳥取銀行、CCIなどの金融機関・グループ会社も輸出に意欲的な地域の事業者を伴走支援し、商談機会の創出に貢献した。

業界団体は会期前より販路開拓支援を後押し

全国醤油工業協同組合連合会や日本産酒類輸出促進コンソーシアムでは、会期前より現地バイヤーとのネットワーキングやマスタークラスを実施し、会期前段階から販路開拓を後押し。こうした官民一体の取り組みは、現地企業との具体的な商談の一助となった。



**次回（2026年）
会期・会場 ご案内**

●2026年
10月22日・23日・24日
●Suntec Singapore
Convention & Exhibition
Centre